

「ボランティア養成セミナー」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
30名	44名	44名	43 (福井 18、京都 8、滋賀 7、愛知 2、大阪 1、岐阜 1)

1名風邪のため欠席

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

- ・青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深める。
- ・ボランティア活動に対する意欲を高める。
- ・当施設でのボランティア活動に必要な知識や技能を習得する。

◆期日・期間

2014年5月3日(土)～ 2014年5月5日(月) 2泊3日

◆後援・協力団体

福井・岐阜・愛知・滋賀・京都各府県教育委員会

◆参加者分析

- ・大学のサークル単位の参加があったほか、近隣高校よりボランティアを志望する高校生や過去に当施設の事業への参加経験のある者が受講するなど、層の広がりが見られた。

◆企画のポイント

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
5月3日(金)			受付	開講式	講義 「青少年教育の理解」	昼食・休憩	実習 「体験から学ぶ」				夕食・休憩	講義 「施設の現状」	入浴 情報交歓			就寝
5月4日(土)	起床 洗面 朝のつどい など	朝食	実習 「救命救急法」			昼食・休憩	実習 「シーカヤック」			夕食・休憩	講義 「ボランティアの理解」 「ボランティアの意義」		入浴 情報交歓			就寝
5月5日(日)	起床 洗面 朝のつどい など	朝食	実習 「グループ討議」 若狭湾の施設活動と プログラム企画				ふりかえり	閉講式								

- ・ 自然とふれあうだけでなく、人との交流を広げることができ、楽しかったです。ボランティアとしての意識も学ぶことができました。
- ・ 楽しかったです。すてきな経験ができました。今日の出会いと学びを大切にしていきます。本当にありがとうございました。

4. 成果と課題

(1) 成果

- ・ 本施設の理解だけでなく、企画内のプログラムが意図するねらいやつけない力を「生きる力」としてとらえ、参加者にどう身につけていくかについて、多様な視点やとらえ方を通して見つめ、考えるための力を身につけることができた。また、自ら開拓をしようとする意欲にもつながった。
- ・ 当施設の研修支援プログラムを念頭に、山の活動を実施し、五感で森や山を感じ、子どもと自然を結びつける手法を学びとることができた。シーカヤックでは操作法に加えて安全面の配慮事項、さらに海を多様な視点から見つめ、学ぶことができた。
- ・ 本施設の理解だけでなく、本施設がもつポテンシャルについても理解を深めることができた。また、自らがこの施設でどのようなことができるかについても考え、ボランティアとして参加者と自然を結びつけることの重要性についても考えることができた。

(2) 課題

- ・ 募集定員を超える申込があったが、受け入れ可能数まで受付る対応を行った。従来からの佛教大学、福井県立大学からのサークル単位での参加があり、今後のさらなる広がりが期待できる。京都・福井・滋賀の高校生の参加も多く、今後、継続した活動を期待したい。参加者が本企画の意図を理解した上で参加してくれた。より幅広い人材の確保を意識した広報活動を行ってきたい。
- ・ 講師について、今年度KEEP協会の方に来ていただくことで、本施設の海と山をつないだ施設の学び、そして五感を通じた学びを生み出すことができた。半面、学校教育との関連や、学ばせ方の面で、今回は梅本守彦氏がおられたことである程度ケアすることができたが、今後利用団体のことを考えるとより施設と学校を結びつけながら内容を深めるためにも、より講師の選定に慎重になる必要がある。

5. 活動の様子



《講義：青少年の理解》



《実習：体験から学ぶ》



《講義：施設の現状》



《実習：救命救急法》



《実習：シーカヤック》



《実習：プログラム立案》